



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 アツギ株式会社
 コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 工藤 洋志
 (氏名) 古川 雅啓
 TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,264	△36.6	△1,301	—	△918	—	△669	—
2020年3月期第2四半期	9,874	△9.6	△284	—	△180	—	△195	—

(注)包括利益 2021年3月期第2四半期 △280百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △839百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△41.74	—
2020年3月期第2四半期	△12.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	41,790	35,220	84.0
2020年3月期	42,395	35,756	84.0

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 35,105百万円 2020年3月期 35,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	△11.8	△2,300	—	△1,600	—	△1,700	—	△106.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	17,319,568 株	2020年3月期	17,319,568 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	1,290,034 株	2020年3月期	1,288,842 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	16,030,205 株	2020年3月期2Q	16,032,835 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停滞により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化しました。緊急事態宣言の解除後は、経済活動のレベルが段階的に引き上げられ徐々に回復の動きがみられるものの、感染症の再拡大が懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移しております。

繊維業界においては、緊急事態宣言に伴う商業施設等の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請等により実店舗における衣料品販売が総じて苦戦するなど、個人消費は急激に冷え込み厳しい環境にあります。

このような状況において当社グループは、現在取り組んでいる中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築を目指しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により春先から百貨店をはじめとした取引先店舗の営業自粛や営業時間短縮、在宅勤務の推奨の動きなどの新たな生活様式への変化によるストック需要の減少等が、当社の主力商品の生産、販売に大きな影響を与えました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,264百万円（前年同四半期比36.6%減）、営業損失は1,301百万円（前年同四半期は284百万円の損失）、経常損失は918百万円（前年同四半期は180百万円の損失）、また、投資有価証券売却益を特別利益に計上したこと及び投資有価証券評価損を特別損失に計上したこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は669百万円（前年同四半期は195百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レグウェア分野は新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、在宅勤務や外出自粛の広がりや背景とした個人消費の冷え込み、生活様式の変化等の影響を受け、プレーンストックやショートストックを中心とした春夏物商品の伸び悩み、プレーンタイトなどの秋冬物の導入の遅れなど全般的に厳しく、同分野の売上高は4,191百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

インナーウェア分野も同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、外出自粛等の影響を受け、全般的に厳しく、同分野の売上高は1,463百万円（前年同四半期比17.1%減）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は5,655百万円（前年同四半期比38.8%減）、営業損失は1,472百万円（前年同四半期は371百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は285百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益は190百万円（前年同四半期比73.1%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しましたが、介護用品の販売が外出自粛の影響などにより厳しい状況で推移しました。また、2020年4月より認知症高齢者向け介護施設であるグループホームを開設しております。これらの結果、当事業の売上高は323百万円（前年同四半期比6.4%減）、営業利益は27百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は41,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ604百万円減少いたしました。これは主に、たな卸資産の増加913百万円、現金及び預金の減少1,113百万円および売上債権の減少402百万円等によるものであります。

負債の部は6,570百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金負債の増加72百万円、退職給付に係る負債の減少128百万円等によるものであります。

純資産の部は35,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ535百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失669百万円の計上や、前期決算に係る配当金240百万円による減少およびその他の包括利益累計額の増加387百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は84.0%（前連結会計年度末は84.0%）となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少407百万円等がありましたが、たな卸資産の増加900百万円、投資有価証券売却益664百万円、税金等調整前四半期純損失627百万円等により、差引1,789百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入944百万円等により、706百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、241百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,271百万円減少し、6,190百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算出することが困難であったため未定としていましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、通期連結業績予想を公表することとしました。詳細につきましては本日公表の「通期業績予想および配当予想（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,120	7,006
受取手形及び売掛金	3,198	2,795
商品及び製品	5,001	5,665
仕掛品	1,421	1,670
原材料及び貯蔵品	491	492
その他	495	658
貸倒引当金	△113	△136
流動資産合計	18,615	18,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,726	1,875
機械装置及び運搬具（純額）	1,882	1,761
土地	13,098	13,098
建設仮勘定	209	31
その他（純額）	43	51
有形固定資産合計	16,960	16,819
無形固定資産		
	167	173
投資その他の資産		
投資有価証券	6,448	6,310
繰延税金資産	12	5
その他	193	332
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,652	6,645
固定資産合計	23,780	23,638
資産合計	42,395	41,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,981	2,035
未払法人税等	133	107
賞与引当金	102	90
その他	840	811
流動負債合計	3,057	3,044
固定負債		
繰延税金負債	594	667
再評価に係る繰延税金負債	1,479	1,479
退職給付に係る負債	1,221	1,093
その他	285	285
固定負債合計	3,581	3,525
負債合計	6,639	6,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	20,000
資本剰余金	9,345	16,148
利益剰余金	△5,509	△1,517
自己株式	△1,462	△1,463
株主資本合計	34,079	33,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	751	1,158
繰延ヘッジ損益	142	55
土地再評価差額金	377	377
為替換算調整勘定	280	347
その他の包括利益累計額合計	1,551	1,938
非支配株主持分	125	114
純資産合計	35,756	35,220
負債純資産合計	42,395	41,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,874	6,264
売上原価	6,916	4,673
売上総利益	2,958	1,591
販売費及び一般管理費	3,242	2,892
営業損失(△)	△284	△1,301
営業外収益		
受取利息及び配当金	118	121
持分法による投資利益	—	3
補助金収入	—	228
その他	37	39
営業外収益合計	156	394
営業外費用		
持分法による投資損失	7	—
為替差損	29	2
租税公課	2	2
その他	14	6
営業外費用合計	53	11
経常損失(△)	△180	△918
特別利益		
投資有価証券売却益	—	664
特別利益合計	—	664
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	1
減損損失	5	1
投資有価証券評価損	—	369
特別損失合計	6	373
税金等調整前四半期純損失(△)	△187	△627
法人税、住民税及び事業税	91	31
法人税等調整額	△92	11
法人税等合計	△0	42
四半期純損失(△)	△187	△670
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△195	△669

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△187	△670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	407
繰延ヘッジ損益	△44	△86
為替換算調整勘定	△455	68
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	0
その他の包括利益合計	△652	389
四半期包括利益	△839	△280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△835	△281
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△187	△627
減価償却費	401	227
減損損失	5	1
のれん償却額	—	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19	△128
受取利息及び受取配当金	△118	△121
持分法による投資損益(△は益)	7	△3
補助金収入	—	△228
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△664
投資有価証券評価損益(△は益)	—	369
有形固定資産除却損	1	1
有形固定資産売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	102	407
たな卸資産の増減額(△は増加)	△520	△900
仕入債務の増減額(△は減少)	566	52
未払消費税等の増減額(△は減少)	5	△230
その他	23	△150
小計	252	△1,971
利息及び配当金の受取額	118	121
補助金の受取額	—	104
法人税等の支払額	△56	△44
法人税等の還付額	71	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	386	△1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△166	△303
定期預金の払戻による収入	75	155
有形固定資産の取得による支出	△251	△107
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△14
投資有価証券の取得による支出	△17	△17
投資有価証券の売却による収入	—	944
補助金の受取額	—	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△361	706
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△481	△240
自己株式の増減額(△は増加)	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482	△241
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136	53
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△594	△1,271
現金及び現金同等物の期首残高	7,238	7,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,644	6,190

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月26日開催の第94回定時株主総会決議により、資本金を11,706百万円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付でその他資本剰余金を4,662百万円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計額には、著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,242	285	9,528	346	9,874	—	9,874
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	9,244	285	9,530	346	9,876	△2	9,874
セグメント利益又は損失(△)	△371	110	△261	34	△227	△56	△284

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,655	285	5,941	323	6,264	—	6,264
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	0	1	△1	—
計	5,657	285	5,942	323	6,266	△1	6,264
セグメント利益又は損失(△)	△1,472	190	△1,282	27	△1,254	△46	△1,301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2020年8月20日開催の取締役会において、株式会社レナウンインクスの全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年10月1日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社レナウンインクス

事業の内容：繊維製品（肌着・靴下・その他）の製造・販売

②企業結合を行った主な理由

株式会社レナウンインクスは当社が強化を志向しているインナーウェアの販売構成比が高く、紳士・婦人ともに幅広い品揃えを有しており、販売ルートにおいても、百貨店からチェーンストアまで幅広い販路を構築しております。また、同社は、当社と親和性の高いレッグウェア・インナーウェア商品を取り扱っておりますが、両者の商品は、主力商品群の商品構成をはじめ、企画・デザイン・調達面等における重複が少ないため、互いに補完関係があり、縮小する国内市場における競争力強化とシェア拡大に繋がることが期待できます。

これらを総合的に勘案した結果、当社グループが掲げる事業構造改革の方向性にも合致し、様々な部分で将来的なシナジー効果を発揮できるものと判断し、同社の株式を取得し子会社化いたしました。

③企業結合日

2020年10月1日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約において秘密保持義務を定めていることから非開示としております。

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(希望退職者募集の実施)

当社は、2020年10月30日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

(1) 希望退職者募集の理由

当社グループは、2019年5月10日に公表いたしました「中期経営計画の見直しと構造改革の推進に関するお知らせ」のとおり、強固な事業基盤と持続的に利益を創出できる体制を構築するため、現在、コスト構造改革、業務構造改革、事業構造改革の3つの構造改革に取り組んでおります。しかしながら、今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による生活様式や消費動向の急激な変化等により、2021年3月期においては主力商品であるストッキングの販売が低迷するなど、当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況となっております。

このような状況を踏まえ、環境の変化に対応し、早期に収益性の改善を図るためには、現在の構造改革の取り組みとともに、より一層効率的な人員体制を構築して利益体質を強化することが急務であると判断し、更なる構造改革の一環として、希望退職者の募集を行うことといたしました。

(2) 希望退職者募集の概要

- ①募集対象者 アツギ株式会社に在籍する正社員、契約社員、パートタイマー
但し、正社員は満40歳以上（2020年10月30日現在）を対象とする。
- ②募集人数 正社員・契約社員60名程度、パートタイマー70名程度
- ③募集期間 2020年12月14日から2020年12月24日
- ④退職日 2021年3月20日（予定）
- ⑤優遇措置 特別退職金の加算および正社員・契約社員の希望者への再就職支援サービスの提供

(3) 業績への影響

今回の希望退職者募集に伴う特別退職金の支払いにより特別損失が発生する予定ですが、現時点では応募者数およびその内訳が未確定であるため、業績に与える影響額は未定です。